



11/11 (日) 起業家を市民みんなで応援

浦添市でだこホールの市民交流室で「浦添創業フェスタ2018」が開催されました。この事業は、浦添市ビジネスコンテストで選ばれた今後の活躍が期待される入賞者7人によるビジネス紹介や、セミナーを通して、より多くの市民への周知と浦添市を盛り上げていくことを目的に行われました。

各セミナーや展示ブースでは創業者の生の声を直接聞ける貴重な機会に、来場者からは多くの関心が寄せられ、実際にマッサージを受けたり、絵本を読んだり各ブース充実した内容となっていました。起業を考えている人向けの相談コーナーも併設され、浦添市の産業発展への期待が高まるイベントとなりました。



11/18 (日) みんなで守ろう牧港川

第17回牧港川クリーンアップ作戦を浦西中学校周辺の牧港川上流域で行いました。当日は市民・事業者・民間団体が協働して、400人を超える参加者が汗を流し、草刈りやゴミ拾いなどの作業に取り組みました。不法投棄や、ポイ捨てをなくして水質の改善につなげたい、と集まった参加者の協力で川は見違えるほどきれいになりました。

牧港川に清流を取り戻そう委員会代表の桂さんは「以前はかなり濁っていたこの川も、底が見えるくらいまできれいになってきた。草が生い茂っていると、ゴミも捨てられやすくなるので定期的な手入れが必要」と地域全体で自然を守ることの大切さを強調しました。



11/2 (金) Challenges for the future ～11/5 (月) ～未来への挑戦～

若者や障がいのある人が“技能の日本一”を競う大会「おきなわ技能五輪・アビリンピック2018」が沖縄県で初めて開催されました。浦添市では、造園、洋菓子製造、左官、家具、建具の競技が開催され、会場に駆けつけた家族や同僚から応援を受けながら、選手達は真剣な表情で日頃培ってきた技術を披露しました。各競技ブースでは、選手の技に拍手が沸き起こり、会場は緊迫感と熱気につつまれていました。

今大会は、技能五輪に42種目1,292人（県勢31種目111人）、アビリンピックに22種目388人（同19種目29人）がエントリーし、県勢は両大会合計で4人が金賞を受賞するなど、過去最多の合計15種目27人が入賞しました。



11/10 (土)・11(日) 地元で熱戦ハンドボール王国まつり

ANA ARENA 浦添（浦添市民体育館）で、浦添に拠点を置く琉球コラソンが参戦する日本ハンドボールリーグの沖縄大会「浦添市ハンドボール王国まつり」が行われました。本市では、平成16年に「ハンドボール王国都市宣言」を行い、市をあげてハンドボールを応援しています。

琉球コラソンには村山裕次選手や石川出選手など浦添市出身の選手が多く所属しており、選手の名前が呼ばれると子どもたちから大きな歓声が起こりました。会場は「We are コラソン!」の掛け声で熱気につつまれ、華麗なパスワークや滞空時間の長いジャンプシュートなど、スピード感のある試合展開で観客を大いに沸かせていました。



11/3 (土) まなびでつながるまち浦添

「まなびフェスタ浦添2018」がだこホールを主会場に開催されました。

放送作家・ラジオパーソナリティの賀数仁然氏による、てだこ市民大学特別公開講座「太陽の王都うらおそい～幻の王統を追う～」では、ユーモアを交えた浦添の歴史の解説に、会場全体が聞き入っていました。

平和学習の一環で長崎へ派遣された中学生による「浦添市中学生平和交流事業報告」では、平和について考えるクイズやグループディスカッションを通して「平和のためにできること」を参加者全員で考えました。

他にも、ボーイスカウト活動やプログラミング講座など楽しみながら「まなび」に触れる機会となりました。



10/26 (金) まち歩きで地域を知って、伝えよう

前田小学校3年生87人が、地域の身近な風景や自分たちのまちを知ろうと、総合学習の時間を利用してまち探検をしました。

探検は美らまち推進課の事業を活用し、うらおそい歴史ガイド友の会や前田自治会、NPO法人沖縄の風景を愛する会の協力で行われ、児童たちは共同井戸や拝所など9か所の場所を巡り、昔の暮らしや行事などについて学びました。また、整備が進められているモノレール延長区間の浦添前田駅周辺では工事現場を見学し、市職員の説明にしっかりと耳を傾け、一生懸命メモを取る姿がありました。児童たちは、道中で発見した動植物にも興味津々の様子で、一日を通して有意義な時間を過ごしました。



10/21 (日) 野球を通して心も体も成長

沖縄ヤクルト(株)が社会貢献活動として毎年行っている少年野球教室が今年はANA BALL PARK 浦添（浦添市民球場）で行われ、市内の少年野球チームの小学生約110人が参加しました。講師を務めたのは元プロ野球選手の花田真人さん、五十嵐貴章さん、中尾敏浩さんの3人で、子どもたちは実践をまじえた守備や打撃の技術指導に加え、練習や試合に臨む姿勢についても指導を受けました。

仲西VBCの島袋壮太さん（小学6年生）は「投げるときの足の使い方をわかりやすく教えてもらえた。これから教えてもらったことを意識して頑張りたい」と目を輝かせていました。